

第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の論点、 検討部会の開催案について議論しました。

■会議開催概要（第2回）

日時：令和2（2020）年11月16日（月）18:30～19:30

場所：廿日市市市民ホール

参加：委員9名（産業・行政機関・学識・労働・言論・士業の各分野に属する方）

■議事（協議事項）

- （1）第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の論点について
- （2）廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討部会（案）について

■第2期総合戦略の論点について

論点1 第2期総合戦略に必要とされる社会のへ対応事項

論点2 全世代・全員活躍型のまちづくりの推進

論点3 ウィズコロナ時代への対応

3つの論点を踏まえ、第2期総合戦略の基本体系を検討

基本目標1 はつかいちの「産業」はニュースにあふれている！！

～そこに着目するはつかいち～

基本目標2 住みたくなる！ちょうどいいまち ～そこ！そこ！！のはつかいち～

意外と知らない、住み続けたい魅力いっぱいのもち

基本目標3 子育て世代に選ばれ続ける「そこ！」が大事

子どもたち、みんな“はつかいちの子”～みんなで子育て～

基本目標4 「そこ！」が好きはつかいち ～はつかいちの心が育む～

基本目標5 そこ！が新しいはつかいち ～感染症の克服と危機に強い地域経済の構築～

委員の声

- 基本目標5を“危機に強い地域経済”から、“危機に強い地域社会”にしてはどうか。
- 総合戦略として、網羅すべきところと廿日市市の特徴を出すところの両方が必要だと思う。
- 論点2は総合戦略としては範囲が広く、総合計画との違いが分からない。例えば、子育て世代の暮らしやすさといった、廿日市市の強みを伸ばすように戦略を立ててはどうか。
- 現在策定中の総合計画の動きをみながら、廿日市市の強みをどう伸ばしていくかが第2期総合戦略の策定の柱であり、基本目標が関わってくる。基本目標の設定について、3つの論点に留意し、さらに網羅しなければいけない状況が生まれた際は、また対応してもらいたい。

■第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討部会について

目 的

- 基本目標に基づき意見交換を行い、参加者から本市にとって必要な取組に関する意見を得ることと、総合戦略の施策や取組の検討に生かします。
- 得られた意見は、第2期総合戦略の素案への反映を検討し、第4回策定本部会の議題とします。

概 要

- 令和3年1月に開催予定。
- 市内の各エリアからの参加を想定し、中心地区で開催します。
- 参加者は、検討会議委員（希望者）、テーマに関する取組の実践者、テーマに関係する市役所職員。
- 3つのテーマに沿ってテーブルを分け、テーブルのメンバーを入れ替えながら意見交換を行います。

＜開催テーマ案＞

テーマ	設定理由
①稼ぐ地域をつくる（しごと）	地域内経済の循環を高め、市経済の自立性を高めるため。
②子育てにやさしいまち（まち・ひと）	子育て世代に選ばれるまちづくりを行うため。
③廿日市市に愛と縁がある人をつくる（ひと）	地域内を含む関係人口の創出を行うため。

※各テーマに共通する視点（Society5.0の推進、新型コロナウイルス感染症の克服、多様な人材の活躍）

委員の声

- 3テーマに共通する視点についても意見を集めるなら、①～③と同様にテーマに設定しないと意見が出てこないのではないかと。
- コロナウイルスだけでなく、自然災害に強いまちづくりという視点も入れてもらいたい。
- 「Society5.0の推進」、「新型コロナウイルス感染症の克服」については単独で1つのテーマにした方が意見を深掘りできて良いと思うが、専門家が1人は必要だと思う。

委員の意見を踏まえ、以下のテーマを追加します。

- ・「Society5.0の推進」
- ・「新型コロナウイルス感染症の克服など危機に強い地域社会」

※今回の会議結果や新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえて、開催内容を再度検討します。